

LAZARUS

ラザロレポート **report**

「ラザロレポート」では月に一度、株式会社 LAZARUS のニュースをお届けします。
弊社が取り組んでいることや、スタッフ紹介、小説などなど！ぜひご一読ください。

大阪セラミックトレーニングセンター

トレセン卒業作品が優秀賞を受賞！

弊社歯科技工士の澤達也がこの度、大阪セラミックトレーニングセンター週末コースを無事修了いたしました。そして卒業作品が優秀賞の1つ『西村賞』をいただくことができました！株式会社 LAZARUS（ラザロ）では、社員の学びを最大限バックアップしています。トレセンなどのセミナー受講費の補助をはじめ、歯科技工専門誌等の資料を取り揃えるなど学びの場を整えております。（有名講師を招いての勉強会開催実績もあります。）モチベーションの高い集団が、存分に成長できる環境であることが弊社の強みの1つです。よりハイクオリティな技工物をお届けできるよう、精進してまいります！！

「業務との両立が大変な時もありましたが、教えていただいたことを臨床に活かし、今後も技術を磨いていきます！」（澤）



「西村賞」を受賞した卒業作品



インストラクターが在籍しています！



この度、インストラクターとして歯科技工士の三好大介氏を迎えました。設立10周年、平均年齢約30歳の弊社。成熟に向かう我々は、三好氏の上質な技術と知識のサポート得て、さらに高みを目指す次第です。すでにカービング練習や社内勉強会が習慣化しています。今後の株式会社 LAZARUS にご注目ください！

三好 大介（みよしだいすけ）

1974年生まれ。大阪セラミックトレーニングセンターを卒業後、神戸デンタルアートスタジオ、Au-ceram（米ロサンゼルス）、清浩会インプラントセンターに勤務。2008年 a-zoth dental lab を設立。歯科技工士として臨床に励みながら、GC initial instructor に就任し、後進の教育に力を入れている。



▲アナログ技術の繊細さを、デジタル技術の精密さをもって表現するのも三好氏の特技。

技工所開業までの苦労や、思い出話をひたすら書くだけの、ただそれだけのコラムです。

～開業奮闘記～

誰が興味あるねん

ハ 治 電

第15話 「世界で一番暑い夏 in 金沢」

「裸一貫」という言葉があります。開業当初はまさしく誰もが「持たざる者」であり、裸一貫での不利な闘いを余儀無くされます。ただし「裸」と言っても、本当に裸で仕事する訳ではないのは言うまでもありませんが・・・。

これは3年前の夏、所属するスタディグループ（SJCD）のプレゼン全国大会（in 石川県 / 金沢）があったので、それに参加した時の話です。

前夜祭があったので前乗りし、久々にお会いする方々と楽しい酒を酌み交わしていました。2軒目、3軒目・・・と行くうちに、気が付けば記憶が無くなる・・・というのは、まあいつもの流れです。

いつもはホテルの部屋で「ここどこや・・・！あ、ホテルか・・・。」と気づくのですが・・・その日は、「おい！！おい！！お前大丈夫か！！」というおじさんの声で目が覚めました。なんと僕は、ホテルのエレベーターの中で、一糸まとわぬ状態で潰れていたんです。

「すみません！！」と、自分の部屋に戻ったのですが、オートロックで入れず・・・もう仕方ないので、腹くくって産まれたままの姿でフロントに行くことにしました（今思えば、各階にある電話で呼び出せばよかったけど頭が回らなかった）。

『コソコソするのはカッコ悪い』という妙なポリシーがある僕は、あえて堂々と何も隠さずフロントに行き、腹式呼吸の大きめのええ声で「締め出されたのでスベアのカードキーもらえませんかね！」と伝えました。

えらいもんで、フロントのお姉さんは半笑いでした。

かくして部屋には無事入れたのですが、問題は「なぜそんな状態でエレベーターに・・・？」というところ。

推測するに『シャワーを浴びようとしてドアを開けたら、間違っ入口のドアを開けてしまい、フロントに助けを求めようとエレベーターに乗ったところで力尽きてしまった』という事でしょう。おそらくおじさん以外にも惨状を目の当たりにしたのだと思いますが、多分怖くて声がかけれなかったんだと思います（今思えばおじさんに感謝。ナイトスクープに捜索依頼の手紙出そうかな・・・）。

思い出はいつの日もビターです。

ちなみに、チェックアウトの時もお姉さんは半笑いでした。あれは、決して「スマイル」ではなく「半笑い」でした。「爆笑」でも「微笑み」でもなく・・・「完全なる半笑い」でした。

アラサー女をちょっと悦ばせる方法 17

事務 山田

数ヶ月前、huluで「幸福なラザロ」というタイトルの映画を見つけ、「ラザロ！？観なきゃ！」と思い、観てみました。

1980年代のイタリアで実際にあった詐欺事件から着想を得て、隔絶された農村を舞台に小作制度が廃止された事を知らずに、地主により搾取される人々とその運命を描いた映画です。

まず惹かれたのは映像美。全編16mmフィルムで撮影されていて味わい深い映像なのですが、中でもミレーの落穂拾いやブリュゲルの描く風景画のように美しい農村の映像はたまりませんでした。

そして特に印象深いのは純粋で真っ直ぐな、主人公ラザロの瞳。吸い込まれるようなその瞳を見つめるとまるで己の欲深さや愚かさを見透かされるような心地になり、畏怖せざるを得ませんでした。宗教色が強い部分もありながら、資本主義における格差や搾取といった現代社会の問題をまざまざと見せつけられ、幸福とは何かを深く考えさせられる一本でした。ちなみにまだ見つかっておらず・・・見つかった時に死を迎えるのだと思います（笑）



アリーチェ・ロルヴァケル (2019年)



株式会社 LAZARUS_歯科技工士

石崎 剛 Ishizaki Go

スローな空気は、熟考の証。

なぜ歯科技工士に？

子供の頃、隣の家の人が技工士で、カッコいい車に乗っていて（笑）憧れたのか、気が付いたら目指していました。技工士でなければ消防士になりたかったです。

転職組の石崎さんから見た、ラザロのいいところって？

空気が明るくて挨拶をきちんとするところと・・・1人1人が考えて行動するところがいいですね。あとはプレゼンや発表なんかを経験できるところ。社会人スキルを上げていこうと、自分も思っています。

よく周りからツッコミを受けていて、穏やかで天然なのか？と思いきや、何やら週末をストイックに過ごしているんだとか・・・？

ラザロは努力した分が仕事につながる職場なので、よく自主練をしています。でも結構アニメを観たりもしています（笑）



- ▲ カービングの自主練。昔から何かを作るのが好きでした。
- ▲ パーバキューやスノーボードなどのアウトドアな遊びも好きです。写真は、いつもの仲間と岐阜ダイナランドへ行った時のものです。



お気軽に
お問い合わせ
ください



SNS
更新中です